

**議会新体制スタート
4月13日 第2回臨時会
第3弾くらし復興券発行決定**



正副議長・監査委員

()内は期数

議長 折山 誠 (3)



この度の選挙で7名の新任議員が誕生し、年齢構成も若くなりました。経験と、新たな変革のエネルギーが力を

を合わせて、町民福利の向上を目指します。また1議員の声の背景には、多くの町民の負託があることを肝に据え、融和と公正な議会運営に努めて参ります。

副議長 宮脇 寛行 (1)



この度、新任ではありますが、副議長に選任して頂き、身の引き締まる思いです。議長を補佐し、行政と議会が

車の両輪となり、活気と魅力ある町づくりを進めます。任務を果たすため、町民や、各種団体などとの懇談・交流を進め、町民の声を町政に反映させます。

監査委員 堀内 学 (1)



本年度から監査委員という大役を仰せつかりました。公共団体の監査について税理士会において研修を受けてま

いりました。飯島町に即した予算執行について、これから理事者との質疑を通し行ってまいりたいと思います。

総務産業委員会

委員長 吉川 順平 (1)



4月2日の初議会において総務産業委員長を拝命致しました。住みよいまちづくりの為に総務産業委員6名全員

で、総務・産業振興・建設水道など、幅広い分野において、経済と結びつきが多い重要な委員会として、住民目線で尽力し慎重に審議していきます。

副委員長 片桐 剛 (1)



総務産業副委員長を拝命しました。多くの課と接する多岐にわたる委員会ですが、その分住民の皆さんの声も多く聞

くことができると考えております。「いつまでも住みたいまち・いいじま」のさらなる実現に向け、精一杯取り組みます。

委員 浜田 稔 (4)



昔は(?)声の強い人が会議を仕切り、一方で帰り道のつぶやきがみんなの本音だったりしました。

長引くコロナ禍で、溜まるのは不安と不自由と負担… そんな町内のつぶやきに、議会と町が親身になって応えるよう、議員として努力を重ねます。

委員 久保島 巖 (4)



更なる議会の見える化・情報公開が必要です。高齢化が益々進む中、人材には限りがあり、インターネットを活用

の見守りサービス構築が喫緊の課題です。将来の子どもたちに美しい飯島町を残していくことが、今を生きる私たちの役目と感じ行動します。

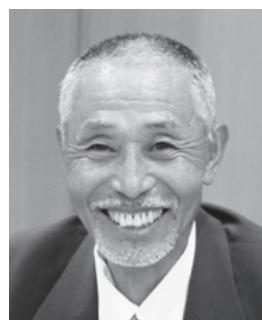
委員 堀内 学 (1)



若い世代の意見を多く取り入れつつ、将来飯島町を牽引していく住民として、良い町であると自信をもって言え

るよう、時代に合った考え方を、議会を通して、町行政に反映できるよう努めます。

委員 宮脇 寛行 (1)



住民の代表として、住民の問題や課題に耳を傾け、行政につなげます。行政と住民との溝をなくし、風通

し良く、皆が支えあい、お互い様の精神で、安全で安心して幸せに暮らせるまちづくりを進め、子孫に繋げたいと思います。

◇総務産業委員会

所管課

・総務課 ・企画政策課 ・産業振興課 ・建設水道課 ・地域創造課 ・会計課 ・議会事務局

所管会計

・一般会計(所管課分) ・水道事業会計 ・下水道事業会計

議会運営委員会

◎坂井活広 ○久保島巖 片桐 剛 吉川順平 星野晃伸

議会広報委員会

◎片桐 剛 ○久保島巖 浜田 稔 吉川順平 星野晃伸 堀内 学

◎委員長 ○副委員長

社会文教委員会

委員長 星野 晃伸 (1)



私は町民の皆様のアシスト・メッセンジャーとして、行動することをお約束として議員になりました。各業種の皆

様とお話しさせて頂いております。アフターコロナは元より、飯島町活性化のために、南信初の人工芝グラウンド誘致などにチャレンジしてまいります。

副委員長 伊藤 秀明 (1)



私は、町の発展のために、土木工事17年の経験と実績を災害の無い町のために活かしていきます。中学校管理

人6年の経験を教育に、障がい者ヘルパー・災害ボランティアコーディネーター・旧2級ヘルパーの資格と経験を福祉に生かして、誰一人として、置き去りにすることない安心、安全の町をつくりま

委員 坂本 紀子 (5)



コロナ禍にあり先ずは検査と予防・生活保障の充実が大事。町は高齢化で、自治組織の担い手が減っている。

地域課題が直ぐに対応できる仕組みに変えていく必要がある。給食を通して子どもの健康と教育環境の改善を進めたい。また、安全な農産物の生産と消費を拡大したい。

委員 三浦 寿美子 (7)



行政の最大の役割は、住民のいのちと暮らしを守ることです。新型コロナウイルス感染、第4波への対策が急がれます。

コロナアンケートには「困窮者への支援が優先」との意見も多いです。声なき声に、心寄せることのできる町政を目指したいです。

委員 坂井 活広 (1)



若者世代のUターン・移住促進に向け「帰って来なくなる町」「若者の声が届く町」を目指し、若者が魅力に感

じる町づくり、また、若者世代がどんどん議員に立候補できるような議会づくりを目指します。

委員 折山 誠 (3)



○高齢者・障がいのある皆様の在宅支援施策充実に努めます。○子どもたちが、家庭の状況に左右されず、

同じ環境で学び育まれる施策の充実に努めます。○10年後の力強いまちづくり実現のため総合計画施策の推進に努めます。

◇社会文教委員会

所管課

・住民税務課 ・健康福祉課 ・教育委員会

所管会計

・一般会計(所管課分) ・国民健康保険特別会計 ・後期高齢者医療特別会計 ・介護保険特別会計

関係団体などの主な委員

◇上伊那広域連合議会議員

折山 誠 宮脇 寛行

◇伊南行政組合議会議員

折山 誠 宮脇 寛行
吉川 順平 星野 晃伸

◇町消防委員会 片桐 剛

◇町営農センター委員会 吉川 順平

今後の議会予定

6月定例会

- ・開会 6月4日(金)
- ・一般質問 7～8日(月・火)
- ・委員会審査 9～15日(水～火)

土日は休会

- ・最終日 6月16日(水)

* どの会議も基本的に傍聴できます。

* 定例会前に臨時会の開催がある場合もあります。

第3弾 暮らし復興券の活用を

令和3年第3回臨時会は、条例改正1件と一般会計補正予算1件が上程され、審議の中で、補正予算修正案が提出されました。

条例改正

◇介護保険条例の改正

新型コロナウイルスの影響を受けた高齢者世帯の保険料減免を令和3年度末まで延長する。

質疑・討論なし
原案可決

一般会計補正予算

主な財源

国庫支出金 1600万円
財政調整基金繰入 14700万円
暮らし復興券販売 4700万円

主な歳出

ワクチン接種 1600万円
庁舎トイレ改修 2553万円
図書館エアコン 2098万円
集会所空気清浄機 900万円
文化館コロナ対策 503万円
弓道場トイレ改修 160万円
低所得者支給復興券 1623万円
子育て支援復興券 433万円
福祉事業所応援 110万円
新型コロナウイルス感染見舞金 35万円
暮らし復興券発行 11250万円
観光WEBサイト改修 100万円

主な質疑

問 国の3次補正は2月に成立している。町は遅れた感がある。交付内示額 9900万円ありきの予算か。

答 喫緊のものを3月に補正。残り9900万円を国の繰越で残し、練り上げていた。交付されれば、財政調整基金に戻す。

問 町の情報共有連絡会議では、暮らし復興券のほかに経済対策の要望はなかったか。

答 復興券の使用期間を長くし、相対的に景気浮揚させる経済対策に一致した。

問 実態調査の必要があるが。

答 適切な時期に実施する。

問 今後の国の姿勢や財源は。

答 国からは示されていない。必要があれば、財政調整基金を取り崩して対応していく。

一般会計補正修正案

復興券事業を半額にし、予備費に回す。予備費で支援策を。

修正案の質疑

問 修正案では、復興券が半分だが、配付の方法は。

答 1万円分を5000円分にする案だ。

問 生活困窮者などへの配布も半分にするのか。

答 販売分だけを半分にする。

討 論

原案賛成 住民要望を実現させ、今後も財政調整基金を使つての対応を考えるとしている。

原案賛成 町の中に公平に配分しようとする案でよい。

修正案賛成 影響がはっきり出ており、早急な支援が必要。

原案賛成 復興券を使った若者主導のイベントも考えられており、有効活用の期待ができる。

原案賛成 皆それぞれ苦しいが、助け合っていく事が重要。なお実態調査を求める。

修正案賛成 復興券の大きい予算を支援に充てるべきだ。

採 決

- ・修正案 賛成3人 反対8人
- ・原案 賛成8人 反対3人

賛否の分かれた評決結果

議 案 名 ※議案の採決は議長を除く11人で行います。	浜田 稔	久保島 巖	片桐 剛	吉川 順平	坂本 紀子	星野 晃伸	三浦 寿美子	堀内 学	坂井 活広	伊藤 秀明	宮脇 寛行	折山 誠	審議結果
令和3年度一般会計補正予算（第1号）修正案	○	●	●	●	○	●	○	●	●	●	●	／	否決
令和3年度一般会計補正予算（第1号）	●	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	／	可決

あなたの声を議会だより ☎0265(86)3111 内線230 FAX.86-4395 E-mail: iijima-gikai@cek.ne.jp